

## 会議記録（1）

会議名称	平成20年度 第1回北本市地域公共交通会議
開会及び閉会日時	平成20年8月27日（水） 午前10時から正午
開催場所	東部集会所（東部公民館内）
議長氏名	副市長 山畠 則義
出席委員職氏名	1号委員 山畠 則義 2号委員 梶原 薫、長谷川 洋司 3号委員 鶴岡 洋、小林 幸平 4号委員 永渕 元彦、高荷 正春、新井 卓一、川村 洋二 5号委員 田中 力 6号委員 井上 修 7号委員 高橋 眞太郎（代理出席）、櫻井 文夫（代理出席） 大高 孝三
欠席委員職氏名	4号委員 白石 春彦、堀部 雅澄
説明者の職氏名	政策推進課 主幹 田中 正昭
事務局職員職氏名	総合政策部長 谷澤 暢 政策推進課長 吉野 一 政策推進課主任 深谷 俊行
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 委嘱状交付（代表） 3 議 題 （1）北本市地域公共交通会議設置要綱の説明 （2）本市の公共交通に関するこれまでの取組み経過 （3）今後の進め方について （4）その他 5 閉 会

配布資料	<ul style="list-style-type: none"><li>○北本市地域公共交通会議設置要綱</li><li>○平成20年度北本市地域公共交通会議委員名簿</li><li>○公共交通に関するこれまでの取組み経緯（概要）<ul style="list-style-type: none"><li>・バス交通勉強会 検討結果報告書</li><li>・北本市コミュニティバス導入計画 調査業務報告書（抜粋）</li><li>・議案第116号 平成18年度北本市一般会計予算 補正予算（第2号）に対する附帯決議</li></ul></li><li>○オンデマンドバスシステムの設計と開発</li></ul>
------	---

発言者	発言内容・決定事項
事務局 副市長 市長（代理副市長） 委員及び事務局 事務局 事務局 鶴岡委員 事務局 小林委員 事務局 事務局	司会進行 事務局（政策推進課長）吉野 一  1 開会  2 あいさつ （省略）  3 委嘱状交付 代表して川越観光自動車 梶原薫様に交付  委員及び事務局自己紹介  議長選出 設置要綱第5条第1項により副市長を北本市地域公共交通会議の議長へ選出  4 議題 (1) 北本市地域公共交通会議設置要綱の説明 <北本市地域公共交通会議設置要綱について説明を実施>  ○職務代理者に4号委員 高荷正春様を指名  ○会議について、原則公開であることを説明  <b>【質疑等】</b> ○この要綱の告示日はいつになるのか。  →平成20年6月24日となります。  ○この会議は、今後コミュニティバス等の運行を行うこととして会議を進めていくのか。  →新たな地域公共交通の導入を図ることを前提として会議を設置させていただいたものです。  (2) 本市の公共交通に関するこれまでの取組み経過 <資料に沿って説明>

発言者	発言内容・決定事項
大高委員	<p><b>【質疑等】</b></p> <p>○北本市はコミュニティバス等の導入について、時間をかけて様々な検討を行ってきた。今では、いろいろな自治体でコミュニティバス等が運行されているので、既に運行している他自治体等の事例も参考として良いものにしてもらいたい。</p> <p>○コミュニティバス等の事業を考えるときに、目的や対象者を明確にしておく必要がある。収益を見込むのであれば、通勤通学者を視野に入れないと目的達成はできない。しかし、デマンドバス方式では通勤通学者を対象とすることは難しい。</p> <p>○ある程度採算性を見込むためには、バス利用の促進方法を検討していく必要がある。</p> <p>○デマンドバス方式にもメリット、デメリットがあるので、十分に検討が必要である。既存のバス、タクシー事業者と十分に調整して欲しい。</p>
永渕委員	<p>○コミュニティバス等の導入までに時間がかかりすぎている。短期間で導入できる方法も考えて欲しい。</p>
総合政策部長	<p>→市民のみなさまの合意のもと進めるため、バス交通勉強会等で市民の方と一緒に検討を進めてきました。今では、デマンドバス方式という良い方法も出てきているので、地域公共交通会議のみなさまの理解を得ながら進めていきたいと考えています。</p>
梶原委員	<p>○コミュニティバス等の運行だけ考えるのではなく、街の活性化についても検討していくべきである。</p>
議長	<p>→中心市街地の活性化についても併せて進めていくべきであると考えています。</p>
事務局	<p>(3) 今後の進め方について          &lt;資料に沿って説明&gt;</p>

発言者	発言内容・決定事項
小林委員	<p><b>【質疑等】</b></p> <p>○タクシー事業者としては反対の立場を取らなくてはならないが、市民の利便性を考えると反対とだけ言うては行られない。</p> <p>○燃料高騰等で以前より運行経費が必要となってきた。このことも考慮し運行方法を検討すべきである。</p> <p>○運行時期はいつを予定しているのか。</p>
事務局	<p>→デマンドバス方式で運行していくということになれば、タクシー事業者にも協力をお願いしたいと考えています。運行時期については、この会議の結論が出てからになりますが、21年度中に実証運行の開始を考えています。</p>
新井委員	<p>○ガソリンが高騰している状況であるが、現在運行している路線バスの利用状況はどうなっているか。</p>
梶原委員	<p>→駅から近い路線については、利用者はあまり変わらないが、駅から遠い路線の利用者は若干ではあるが増えてきている。</p>
大高委員	<p>○県ではモビリティ・マネジメントとして、公共機関利用者の増加を推進しています。コミュニティバス等の運行については、これら考えと繋がってきますので、応援していきたい。</p>
川村委員	<p>○コミュニティバス等の導入までには、多くの方の意見を聞くためにも、時間をかけて慎重に検討を進めるべきである。</p>
事務局	<p>(4) その他</p> <p><b>【報告】</b></p> <p>○今後のスケジュールについて 第2回目は10月中を予定しています。次回は、今回説明をした新しいデマンドバスシステムの開発者である東京大学研究室の方に、システムについて説明をしてもらい、今後、デマンドバス方式で運行するか、コミュニティバスのような</p>

発言者	発言内容・決定事項
川村委員	<p>路線方式で運行するかを確定したいと考えています。  第3回目、4回目以降については、決まりました運行方式について、詳細な運行方法について検討を進めていきたいと考えています。</p> <p><b>【質疑等】</b>  ○今後の進め方について  開催時期についてはできるだけ早めの通知と併せ、会議資料についても、事前配布をお願いしたい。</p>
事務局	→そのように努めます。
総合政策部長	閉会

議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。

平成 20年

9月24日

会長

山島 剛義